

ひばり



令和7年3月3日
府中市立日新小学校
拠点校校長 渡邊 妙子

少しずつ暖かい日が増え、春の訪れを感じる頃となりました。まもなく今年度の指導が終了いたします。

やりとりの中で自分の思いを伝えることができるようになったり、気持ちの切り替えが早くなったり、相手の意見を聞くことが増えたりとそれぞれの子供に成長がみられました。

保護者の皆様や在籍校の先生方との連携が教室運営において大きな支えとなっています。今年度も特別支援教室「ひばり」へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。今後も一人一人がよりよい生活を送っていただけるように指導・支援を行ってまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

3月の予定

各曜日の指導終了日

月曜…3月17日
火曜…3月11日
水曜…3月12日
木曜…3月13日
金曜…3月14日

3学期個人面談

3月10日(月)～24日(月)

※2月13日(木)に日時の決定通知を配付しています。

ご確認よろしくお願いいたします。年間を通してのお子様の様子や次年度の指導方針等お話をさせていただきます。

新年度の予定

保護者会

4月9日(水) 日新小 9:30～
4月10日(木) 四谷小 9:30～

新1年生・新入室保護者面談

4月9日(水)～4月18日(金)

※今年度在籍の方もご希望があれば可能です。
お知らせください。

☆担任の先生方へ☆

先生方と情報共有を行い、日々の様子や目標を共有でき、指導に生かすことができました。ありがとうございました。4月は担任の先生が変わったり、クラス替えがあったりと変化の多い時期です。児童の様子を共有しながら、今後も連携し、指導・支援を行いたいです。よろしくお願いいたします。

☆保護者のみなさまへ☆

4月は変化の多い時期で、お子様も保護者の皆様も不安が大きくなるかと思います。4月に入りましたら、今までのお子様の様子を担任の先生に伝えてください。ご心配なことがありましたら、できるだけ早めに面談を組むなどのご対応で、安心して学校生活を送ることができると思います。何かありましたら、「ひばり」にも連絡をいただければと思います。

☆2月の指導より☆



基礎グループ 忍者修行『協力』

忍者修行として毎学期、キーワードを意識させながら学習してきました。3学期はその集大成!「協力」をキーワードにして活動しました。協力のポイントを「力を合わせる」「相談する」と示して、ということが協力なのかイメージをもたせて活動させました。トーンチャイムの演奏では、相談活動を経験しました。自分が演奏したい曲、音を伝え合い、被ってしまった時は、譲ったりお願いをしたりして決めるという相談の仕方を示しました。なかなかお互いが。それでも「1回目は譲るから2回目はやらせて。」と言い、譲ったりお願いしたりすることができました。この経験が今後も相談する際に役立てて欲しいです。

実践・発展グループ ～ひばり発表会～

今年度は2年ぶりに各校で、グループ合同での発表会を行いました。はじめはなかなか発表のイメージがつかない子供たちでしたが、徐々にみんなで頑張ろうという雰囲気が出てきました。発表会本番では緊張の面もちでしたが、練習の成果を発揮できました。

グループでどのように練習するといいのか、進行の仕方をどのように進めていくかなど自分たちで話し合い、進めました。相談活動をメインとして学習してきた実践・発展グループ。意見が対立した時の自分の気持ちへの折り合いのつけ方、譲ったら譲ってもらう、などグループで1年間の学習の成果が見られました。

また、個別指導のみの児童は個人発表を行いました。一人での発表でしたが、堂々と披露することができました。今年度で「ひばり」を卒業する児童は、今までの学習を振り返り、「卒業の言葉」のスピーチをしました。その感想を保護者からいただいたとき、恥ずかしがる子、涙する子など、良い締めくくりとなりました。

保護者の皆様、先生方、当日は子供たちの頑張りをご覧いただきありがとうございました。緊張や不安を感じていた子供たちですが、あたたかいお言葉をいただき嬉しそうでした。感謝申し上げます。

ひばり卒業の言葉

今年度ひばりを卒業する子供たちの「卒業の言葉」の一部をご紹介します。【日新小】

- ひばりにいて、一番できるようになったことは「ゆずる」ということです。授業中に周りの人のこと考えずに、すぐに発言したけれど、最近は順番をまもって発言しています。まだ、気持ちがたかぶると、ちょっかいをかけてしまいます。時間はかかると思いますが、最後にはできるようになりたいです。
- ひばりに通って成長したことは、交流関係です。たまった悩みを打ち明けると、解決策やこうすると良いという工夫がうまれてきて、気持ちが軽くなりました。これからも心を大切に、悩みをためこみすぎないようにしていきます。
- 「ひばり」では、「まあいいか」を学び、相手から注意されてもイライラしなくなってきました。学年があがっていくと、暴力はしなくなり、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってきました。
- 1年生のころは、思いを言葉で伝えることができなかったり、物にあたったりすることが多かったんです。ひばりに通って、力じゃなくて言葉で伝えたり、先生と話し合ったりして、けんかを引き起こす原因をつくらないようにしていきます。
- ひばりに入った理由は2つあります。話すことが苦手だったこと、人の話を聞いて理解するのが苦手だったことです。ひばりでできるようになったことは、自分のことを考えるようになったことと、人と話をすることがまっまっできるようになりました。ひばりがなくても、自分のことを考えて、人と話をしたり、先生の話の聞いたりすることをがんばりたいです。